

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 112 号

発行日 令和 8 年 9 月 30 日

発行人 原 田 喜 延

TEL・FAX 026-244-5165

❖ 「浅川ダム祭り」10周年・「夏の農産物祭り」開催される！ ❖

7月25日（土）35度を超える猛暑の中、浅川ダム展望広場において「第10回浅川ダム祭り」と浅川ダム展望広場愛護会「夏の農産物祭り」が開催されました。今年はダム祭り10周年記念として長野県PRキャラクターのアルクマとトンネル工事のホルトンも来場、ガチャポンくじプレゼントなど例年になくイベントに大勢の来場者が訪れました。

愛護会の直売ではたくさんの季節の野菜・果実・加工品等が並びました。ぼたんこしょう、ジャンボピーマン、なす、きゅうり、玉ねぎ、じゃがいも、キャベツ、ズッキーニ、モロッコインゲン、黒ニンニク、わらび、おかひじきなど夏野菜、夏あかり、ブルーベリー等の果実類、はちみつ、ナスのからし漬け、りんごジュース、ジャムなどの加工品に加えて、1匹10円のクワガタ虫は訪れた子どもたちに大人気でした。今回も北部中学校から職場体験学習の一環としてボランティアの生徒さんが参加して直売のお手伝いや受付をしてくれました。

会場で行われたボランティア2団体バンド演奏では、来場者からの手拍子もあり大いに盛り上がりました。

浅川ダムではダム見学会や“働く車”の展示、ダムカード写真撮影コーナー、ドローン操縦体験が行われました。また昨年に続いてキッチンカーが出店、ホットドッグやアイスの販売も人気でした。

愛護会直売「夏の農産物祭り」



クワガタも人気



アルクマとホルトン登場



ガチャポンくじも大人気



ドローン操縦体験



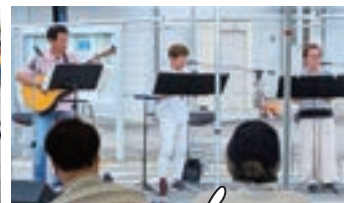
ダムカードができた！

「浅川ダム祭り」



働く車の展示

ダム探検へ



バンド演奏は2団体が出演。大きな拍手がきました！

「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」開催される

今年で76回目となる“犯罪のない明るい社会を築こうとする「社会を明るくする全国運動」”の7月強調月間に合わせて、7月26日（日）「浅川地区住民のつどい」が開催され100余名が参加しました。



【若槻交番高木所長の報告】

最初に若槻大通り交番の高木俊彦所長による「浅川地区における最近の犯罪情勢について」報告が行われ、特殊詐欺に警察が利用される「ニセ警察詐欺」について強く注意喚起が行われました。“逮捕状が出ている”、“あなたが共犯者という証言がある”などと不安を抱かせ、“あなたには守秘義務がある”として誰にも相談できない状況を作り出し⇒行動を支配し⇒送金を指示する、という手口は年々巧妙になっており、被害が急増しているとのことでした。

続いて長野刑務所長の中道徹さんの「長野刑務所の現状」と題する講演が行われました。

長野刑務所では現在約800名の受刑者が収容されており、受刑者たちの所内での生活の様子が具体的に説明されました。特に食事は大切ということで、一日三食、予算800円の中で献立にも美味しさ・栄養価の工夫がなされ、クリスマスにはケーキ、正月にはお節も出されるということでした。

また昭和24年9月23日の裾花川決壊時に、受刑者800人の災害支援への出役を決断した当時の菊池所長の話が紹介され、地域とともに歩み更生への道を支える刑務所の矜持が示されました。現在それを顕彰して長野刑務所には「裾花の薫」の碑が建てられています。



【中道長野刑務所長の講演】



中道所長は去年まで務められた松本少年刑務所長として、全国で唯一の“塀の中の中学校”旭町中学校「桐分校」の現状も報告されました。令和6年に初めて女性の受刑者が入学、令和8年には男性5名・女性5名の共学になっているとのこと、旭町中学校の3年に編入するが、まだ受刑者と同級生になることへの抵抗感や偏見がある現実のようです。

（※「桐分校」については令和元年の「つどい」で同所統括処遇官の「塀の中の中学校」の講演が行われました。）

講演の締めくくりに、刑務所職員は所内では受刑者に対応することができるが、社会に出た後には何もできないとして、「受刑者はランナー、伴走者はみなさん」と訴えました。



【中道所長を囲んで保護司会が意見交換】

講演後、中道所長を囲んで保護司のみなさんとの意見交換が行われました。

なお当日は受付で白バラ会のみなさんが8月9日の長野県知事選挙の啓発のためティッシュやうちわの配布を行いました。



【受付で白バラ会が県知事選の啓発活動】



浅川地区市民運動会開催される！

9月7日（日）猛暑が続いた夏から一転、25度と涼しい運動会日和の中で浅川地区市民運動会が開催され、約300名余の区民が参加しました。区として参加したのは9地区。時代の趨勢を反映したものとはいえ少し寂しさも感じた運動会でした。それでも不参加地区の役員さんも総出で運動会の運営に当たりました。

8時半に開会、ラジオ体操で体をほぐし、小学校児童競争・未就学児の旗拾い・ゲートボールリレー・満水リレー・手のひらバランス棒リレー・玉入れ（中学生以下と地区対抗の2種）の6競技に熱戦が繰り広げられ、午前中には終了しました。

各地区のテントでは、応援する皆さんの笑顔が溢れ、規模は縮小したとはいえ区民が一堂に会する運動会開催の意義を改めて感じました。



【運動会結果】 第1位 浅川押田公民館
第2位 伺去公民館
第3位 浅川西平公民館



【選手宣誓】



【小学校児童競争】



【未就学児の旗拾い】



【ゲートボールリレー】



【満水リレー】



【手のひらバランス棒リレー】



【中学生以下の玉入れ】



【地区対抗で玉入れ】



【優勝おめでとう！押田公民館】



「ツキノワグマを知ろう！！」講座開かれる



【講師の黒江さん】

8月5日（水）浅川公民館自然環境講座「ツキノワグマを知ろう！！～出会わないためにできること～」が開催され40名余が出席しました。

講師は長野県環境保全研究所研究員の黒江美紗子さん。ツキノワグマとはどんな動物なのか、その特性や生態を学び、私たちが安心安全に生活することや自然との向き合い方について、クマの行動追跡、研究に基づいた実践的なお話をいただきました。

長野県におけるクマの生息数は全国トップクラスであり、これまで10件程度だったクマによる事故件数が50件を超えていること、浅川でも2000年以降はクマの隣地になっており、ブランド薬師でも生息が確認されている実態など、身に迫る話を聴くことができました。



【浅川でもクマの目撃ラインが1995年より2000年が下がってきていることを示しています！】



【会場にはクマの剥製、糞、骨、毛皮等が展示され、参加者は興味深気に見入っていました】

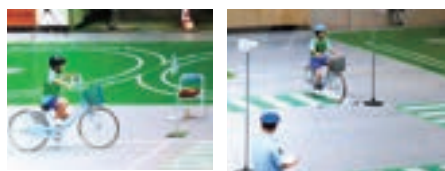


交通安全子供自転車長野県大会行われる

～ 浅川小学校自転車クラブが出場 ～

浅川小自転車クラブが7月11日（土）に千曲市戸倉体育館で行われた『第59回交通安全子供自転車長野県大会』に出場しました。

同自転車クラブは長野市内小学校の中で唯一のクラブで、4月以来浅川地区交通安全協会や警察のみなさんのご指導ご協力で練習を重ねてきました。



県大会には県下の6小学校40人が出場、安全走行と技能走行に臨みました。浅川小学校からは5名のメンバーが出場、結果

は団体の部で準優勝、個人の部では3名が入賞しました。

（安全防災部会・浅川地区交通安全協会 会長 杉原利治）



～ 準優勝おめでとう ～
選手のみなさんの努力とそれを支えてきた安協のみなさんに拍手！

「ちょこっと古本市」をご存じですか！？



7月11日（土）、浅川支所玄関前で何やらたくさんの本が並べられ、訪れた人たちが談笑していました。「ちょこっと古本市」です。

読み終えた本、家で寂しく積まれている本、不要となり捨てられる運命の本など、それぞれの理由で処分されるより、少しでも寿命を長引かせ、多くの人に読んでもらえるようにとの思いから、西条の埋橋知子さんが力強い協力者お二人を得て数年前から始めたボランティアの古本屋さんです。毎月1回、不定期ですが土曜日の午前中に開いています。

本はすべて無料で、返却する必要はありません。本の好きなあなた、掘り出し物もあるかもしれません。一緒に本の話はもちろん、いろいろなお話もしませんか。

※10月は10日（土）9時30分～12時に開きます。



八櫛神社（ブランド薬師）境内の石碑に説明板を設置しました！

8月31日（月）八櫛神社保存会（宮澤重徳会長）が神社境内にある2基の石碑（薬山碑・十三仏供養塚）の説明板を設置しました。

碑文の監修は原田幸一郎さん（浅川西条）にお願いし、作成には昨年行った八櫛神社社殿修復寄付金を充てました。

薬山碑は1863年（文久3年）に、十三仏供養塚は1861年（文久元年）に、1847年（弘化4年）の善光寺地震で壊滅した薬師堂の再建（1861年（万延2年））に合わせて建立されたものと思われます。

八櫛神社（ブランド薬師）にお越しの際には、是非ご覧ください。



【みんなで石碑を清掃して、社殿には寄付金の奉納板を掲示しました！】



【薬山碑・説明板】



【十三仏供養塚・説明板】



共に生きる



たすけあい事業・資源回収協力会員 合同研修会を実施しました

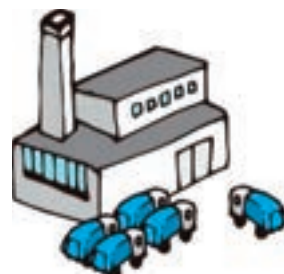
地域たすけあい事業（家事援助・福祉移送）と資源回収の協力会員が合同研修会を行いました。

家事援助では、自宅の片づけをお手伝いする中でゴミの分別をすることがありますが、令和8年4月にプラスチック製品の分別方法が変わり、戸惑うことがあります。また、福祉自動車運行維持費用を助成するために毎月行っている資源回収では新聞紙や古紙・ダンボールなどを回収していますが、集めた資源がどのように処理されているのかはあまり詳しく知りません。

そこで、今回の研修では「ながの環境エネルギーセンター」と「資源再生センター」の施設見学に出かけました。

「ながの環境エネルギーセンター」にはごみを利用した発電や分別などについて楽しく学べるコーナーがあり、童心に戻ってゲームなどに取り組みました。「資源再生センター」では資源ごみをリサイクルする過程を見学しました。

見学後には浅川支所会議室で意見交換などの振り返りも行い、有意義な1日となりました。



長野市社会福祉協議会・長野市福祉政策課 地区訪問



浅川社会福祉協議会では、住民自治協議会役員と長野市社会福祉協議会の地域福祉関係者がお互いに「顔の見える関係」を築き、継続的な地域福祉支援体制の構築を図っていくことを目指し、年1回の懇談会を実施しています。

今年度は長野市社会福祉協議会地域福祉課の担当者3名のほか、長野市福祉政策課からも職員が浅川地区を訪れました。

浅川社会福祉協議会で発行している当地区の年間福祉活動計画に関する議題のほか、長野市が策定中の「第五次長野市地域福祉活動計画」の中間報告を受けました。また、地域たすけあい事業の福祉移送に関する長野市社協の将来的な展望についての説明を受け、浅川地区からは当地区の実情を踏まえた意見が出されていました。



8月27日に開催された第72回長野市社会福祉大会において、浅川地区の方が感謝状を授与されました。長きにわたり、地域たすけあい事業の福祉移送協力会員として社会福祉活動に携わり、その功績が顕著であると認められました。

持田 勝 様（浅川団地区）



賛助会員とは1口1,000円からの地域支援です。

いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

申込先:たすけあい事業コーディネーター 野口 ☎263-3365

浅川葡萄農園だより vol. 8 ～ ボランティアの協力で3万房に袋かけ！～

今夏は空梅雨から8月中旬まで雨の少ない日が続きましたが、下旬に入り一転してまとまった豪雨に見舞われるなど、変化の激しい気候でした。それでもブドウはとても良い状態で生育しています。

今年は品質向上のため全ての房に袋かけを行い、公式LINEの呼びかけに集まってくださった多くのボランティアの皆さまのおかげで、6月～8月下旬にかけて約3万袋の作業を完了することができました。心より感謝申し上げます。

このまま好天が続けば10月中旬～下旬には素晴らしいブドウが収穫できそうです。収穫ボランティアも公式LINEで募集予定ですので、ご協力いただくと幸いです。

日頃の支えに感謝し、栽培から醸造まで丁寧に取り組んで参ります。今後ともご支援ご協力よろしく願いいたします。

(浅川葡萄農園 園主 宋 裕光)



【色づき始めたヤマ・ソービニオン】



【大きく実ったシャルドネ】



【すべての房に袋かけ】

ゴマシジミ保護パトロールを実施～長野市霊園～



【パトロールの様子】

今年も8月に、絶滅危惧種ゴマシジミ（蝶々）保護活動の一環として生息地である長野市霊園での早朝パトロールを、浅川地区各区長の協力を得ながら行いました。

パトロールは蝶コレクターの密猟者対策が目的ですが、保護関係者に現地でゴマシジミを観察してもらい生息地の環境状況を確認していただくことも兼ねています。

今年はワレモコウの開花が遅く霊園内を回っても数頭のゴマシジミしか確認できませんでした。温暖化などの自然の変化が、より絶滅化を進めるのではないかと心配です。



【防犯カメラを設置しました】



【ワレモコウに止まるゴマシジミ】

浅川小学校4年生とボランティアクラブ花❀花隊が校内の花壇で育て霊園に移植されたワレモコウも少しずつ増えています。地区内外問わず誰かが守っていかなくては、ゴマシジミの生息は絶えてしまいます。今後とも保護活動継続へのご協力をお願いいたします。

（地域活性化推進員 下村 守 昭）

その他の主な事業・活動

<報告（9月）>

☆浅川地区防災訓練（浅川地区災害対策本部）……………（※記事・次号）… 9月26日（土）

<予定（10月～11月）>

☆土木要望現地調査 ……………10月6日（火）、7日（水）

☆浅川地区戦没者追悼式（実行委員会）……………10月10日（土）

☆浅川ゆうわ祭 ……………11月1日（日）

広報委員から

今年度、広報委員となりました白バラ会の中村です。

住民自治協議会の掲げるスローガン「みんなで創る元気な浅川！」を目指す様々な活動を知ることができ、日々学ばせていただいております。

8月9日の「長野県知事選挙」に際しましては、白バラ会として「白バラ会浅川地区だより」の発行や「社会を明るくする運動のつどい」の場などでの啓発活動と投票立会人を務めました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

広報委員 中村恵実子（白バラ会会長）